

静岡市立両河内小中学校

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年7月11日(木)

出前授業レポート

「実際の土器や石器に触ることでふりかえりもしつつ、新しい発見や気づきを得ることができました。」

静岡市立両河内小中学校の6年生9人が、教科書では学ぶことのできない実体験をすることで、実感を伴った理解ができるようにすることを目的に、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの3つの体験を行いました。

石器の試し切り体験

旧石器時代や縄文時代の人々の暮らしを考えながら、打製石器や磨製石器、黒曜石の必要性を理解しました。その後、黒曜石で紙や野菜を切ってみました。紙もスーッと切れ、堅いニンジンなどの野菜も切れることを確認し、思いのほかよく切れることを感じていました。また、本物の打製石器や磨製石器に触って、感心していました。

「思っていた以上にきれいに切れた。切れ味が良くて、野菜も切れたのでビックリした。」



土器の分類体験

歴史の授業が古墳時代まで進んでいたため、縄文時代や弥生時代を思い出しながら、縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片の分類を進めました。途中で作り方の違いなどを説明すると、特徴が分かり分類がスムーズにできました。

「縄文土器は分かりやすかった。弥生土器と須恵器は最初分からなかったけど、分かるようになった。」



全班正解！！

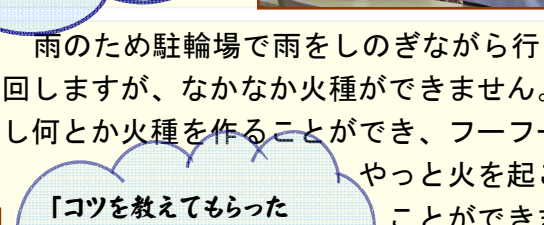
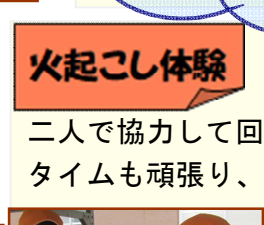
「最初は見分けができなかったけど、作り方を聞いたらいちいち見分けられるようになりました。勉強になりました。」

火起こし体験

雨のため駐輪場で雨をしのぎながら行いました。弾み車を回しますが、なかなか火種ができません。二人で協力して回し何とか火種を作ることができ、フーフータイムも頑張り、

「コツを教えてもらったらいちいちできるようになって楽しかった。昔は火をつけるのも大変だったと感じた。」

やっと火を起こすことができました。ヤッター！！



「初めてやって難しかったけど、コツをつかんだら火を起こすことができた。」

先生方の感想

「歴史の授業で古墳時代までやったばかりだったので、実際の土器や石器に触ることでふりかえりもつつ、新しい発見や気づきを得ることができました。土器の分類では楽しみながらそれぞれの時代の土器の特徴に気づくことができていたので、とても良かったです。石器の試し切りや火起こしも、当時の生活を感じることができたので良かったです。解説がわかりやすく、グループについて丁寧に解説してくださったので、分かりやすかったです。貴重な体験でした。ありがとうございました。」

